

農林水産商工常任委員会提出資料

(平成29年2月24日)

項目	ページ
1 1月23日及び2月9日からの豪雪による農林水産業の被害状況について	
	【とっとり農業戦略課】 1

✓

✓

1月23日及び2月9日からの豪雪による農林水産業の被害状況について

平成29年2月24日
とっとり農業戦略課

1月23日(月)及び2月9日(木)からの豪雪により、県内全域で以下のとおり農林水産業被害が発生しました。未だ判明に至っていない被害内容もあることから、今後とも被害状況把握に努めるとともに、予備費及び今議会提案中の対策予算(2月補正)など活用しながら、早期復旧を図っていきます。

1. 被害状況(以下、2月22日(水)時点での判明分のみ掲載)

○被害額合計 1,078,992千円

(1) 農業関係

①農畜産物

品目名	被害規模	被害額	市町村	主な被害状況
白ねぎ	10.33ha	69,414千円	米子市、倉吉市、他4町	葉折れによる減収
ぶどう	1.85ha	1,480千円	北栄町	枝折れ等の樹体被害
牛乳	3.4t	357千円	鳥取市、他3市町	集乳車が到着せず、牛乳を廃棄
採卵鶏	840羽	360千円	北栄町	鶏舎倒壊による採卵鶏の死亡
合計		71,611千円		

②農業施設(個人施設)

施設等	棟数等	被害規模	被害額	市町村	主な被害状況
ビニールハウス	619棟	119,207㎡	838,774千円	境港市、日吉津村、日野町を除く16市町	ビニールハウスの倒壊
ハウス農舎等	76棟	26,083㎡	44,968千円	鳥取市、他12市町村	ハウス農舎等の倒壊
ガラスハウス	17棟	—	790千円	鳥取市	ガラスの損壊
ハウス内施設	1件	—	2,129千円	鳥取市	イチゴ高設栽培用施設の破損
畜舎	15棟	686㎡	11,930千円	鳥取市、他4町	畜舎の倒壊、屋根の損壊
堆肥舎	5棟	478㎡	10,270千円	鳥取市、他3町	堆肥舎の倒壊、屋根の損壊
倉庫	5棟	469㎡	2,976千円	鳥取市、他3市町	飼料倉庫の倒壊
果樹棚	1件	10a	1,100千円	鳥取市	梨棚の損壊
合計			912,937千円		

③共同利用施設

施設等	棟数等	被害規模	被害額	市町村	主な被害状況
育苗施設	6棟	3,220㎡	19,063千円	倉吉市、智頭町、琴浦町	水稻育苗・イチゴ育苗ハウスの倒壊
アイススケートリンク	3棟	—	13,001千円	倉吉市、北栄町	雪持ち、雨樋等の損壊
堆肥舎	1棟	160㎡	3,200千円	倉吉市	堆肥舎の倒壊
倉庫	1棟	48㎡	360千円	鳥取市	倉庫用ハウスの損壊
合計			35,624千円		

④農地・農業用施設 被害報告なし

(2) 林業関係

施設等	被害規模	被害額	市町村	主な被害状況
製材施設・倉庫	10棟	58,820千円	鳥取市、他3町	製材施設・倉庫の倒壊・一部損壊

(3) 水産業関係

施設等	被害規模	被害額	市町村	主な被害状況
漁船・遊漁船	19隻	調査中	鳥取市、岩美町、湯梨浜町	船の沈没・転覆(漁船:17隻沈没、1隻転覆、遊漁船:1隻沈没)

2. 今後の対応

- 市町村やJ A、農業改良普及所等とともに被害調査を進め、早期の被害状況把握に努める。
- 被害状況に応じ、今議会提案中の対策予算（「平成28年度雪害園芸施設等復旧対策事業」、「平成28年度雪害木材加工・流通施設等復旧対策事業」、「平成28年度鳥取県雪害漁船等普及対策事業」等）や予備費を活用しながら、必要な支援を行う。
- 早期復旧を図るための国支援について、平井知事より農林水産省（2月2日磯崎副大臣、2月14日山本大臣であり、要望内容は別添のとおり）へ要望活動を行ったところであり、今後とも、必要に応じ国支援を強く求めていく。

豪雪により被災した個人農業用施設等復旧支援について

《提案・要望の内容》

- 平成29年1月23日からの記録的豪雪等によって、鳥取県内全域で園芸用ビニールハウスや畜舎など個人農業用施設・機械が被災しており、今後の再生産体制構築への悪影響が見込まれる。また、特に被害が大きい「ビニールハウスの被災地域」は、平成28年10月21日に発生した「鳥取県中部地震の被災地域」と同様、県中部地域であり、深刻な農業被害となっている。
- ついては、このたびの豪雪は鳥取県だけでなく、国内各地において広域的な農業被害を発生させていることから、「被災農業者向け経営体育成支援事業」を適用するなど、早期復旧を図るための財政的支援を行うこと。

(鳥取県内における個人農業用施設被害)

- 豪雪によって個人農家(法人含)が所有する農業用施設・機械等の被害が発生しており、被害施設件数は現時点で250件を超える状況(※融雪後に判明する農業被害もあり、被災自治体からの聞き取りによれば、今後さらに被害額が上積みとなる見込み)。
- うち「ビニールハウス」被害は、葉物野菜や花卉など県内農家の経営主力産品となる園芸品目栽培用ハウスが多くを占めていることに加え、被災地域が平成28年10月21日に発生した「鳥取県中部地震の被災地域」と同様、県中部地域であり、深刻な農業被害となっている。

〔個人農業施設 被害概況(2/2現在)〕 (単位:件数)

県内の圏域	ビニールハウス	畜舎・堆肥舎等	合計
東 部	31	2	33
中 部	192	6	198
西 部	35	3	38
合 計	258	11	269



倒壊したスイカ栽培用ハウス(倉吉市)



大破した牛舎(北栄町)



倒壊した花壇苗用ハウス(北栄町)

(「被災農業者向け経営体育成支援事業」の発動状況(平成28年度))

- 今年度、「被災農業者向け経営体育成支援事業」は熊本地震、台風(7、9、10、11号)被害を対象に発動されており、28年度当初予算(約30億円)及び28年度第3次補正予算(130億円)によって対応されている。

(※)平成29年1月11日からの大雪による影響で、被害地域は19府県にのぼっている。

(平成29年2月1日12:00現在 農林水産省HPより)

豪雪により被災した農林水産業施設の復旧支援について

《提案・要望の内容》

- 鳥取県全域を襲った平成29年2月9日からの断続的降雪によって、鳥取市内では33年ぶりに90cmを超える積雪となるなど、記録的な豪雪に見舞われた。
- その結果、県東部地区を中心に漁船等の沈没・転覆被害が多発したほか、県内全域で園芸用ビニールハウスや製材所等の個人施設が被災するなど、豪雪被害も徐々に明らかになりつつある。しかしながら、現段階では積雪による交通障害等によって、農業ほ場や山間部の林業地帯など、まだまだ多くの被災現場に立ち寄ることすらできないのが現状であり、過去に例のない甚大な被害規模にのぼることが見込まれる。
- また、県内には1月23日からの豪雪による農業被害の爪痕も残る状況であり、度重なる豪雪被害によって深刻な農林水産業被害となっている。
- ついては、1月からの度重なる豪雪は鳥取県だけでなく、国内各地において広域的な農林水産業被害を発生させていることから、雪害被害を産地が乗り越えるべく、早期復旧を図るための財政的支援を行うこと。

(豪雪により発生した各種施設等被害の状況)

- 豪雪によって、漁港などに係留されていた漁船・遊漁船が雪の重みで沈没、転覆した。また、1月23日以降の豪雪の影響もあり、個人農家(法人含)や林家が所有する施設・機械等の被害が大きく拡大することも見込まれる状況(※融雪後に判明する被害もあり、被災自治体からの聞き取りによれば、被害は相当額にのぼる見込み)。

[2/9からの豪雪による漁船被害]

漁船18隻が沈没、1隻が転覆(鳥取港、田後港、網代漁港、湖山川、東郷湖、橋津川)

[1/23からの豪雪による農業施設被害(2/13現在)](単位:件)

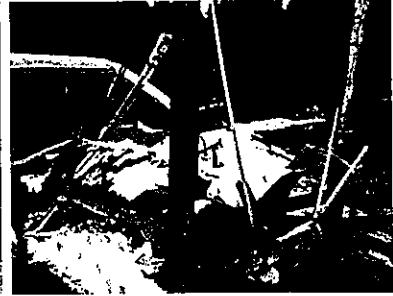
県内の圏域	ビニールハウス	畜舎・堆肥舎等	合計
東 部	39	3	42
中 部	205	6	211
西 部	54	3	57
合 計	298	12	310



転覆した漁船(鳥取市)



倒壊した花壇苗用ハウス(北栄町)



倒壊した製材所(智頭町)

(「被災農業者向け経営体育成支援事業」の発動状況(平成28年度))

- 今年度、「被災農業者向け経営体育成支援事業」は熊本地震、台風(7、9、10、11号)被害を対象に発動されており、28年度当初予算(約30億円)及び28年度第3次補正予算(130億円)によって対応されている。

(※)平成29年1月11日からの大雪による影響で、被害地域は26府県にのぼっている。

(平成29年2月10日12:00現在 農林水産省HPより)